



“ONE TEAM” で推進する価値協創

アサヒグループホールディングス株式会社

執行役員 IR 部門ゼネラルマネジャー 石坂 修

このたびは「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において、食品部門の優良企業に選定いただき誠にありがとうございます。受賞は3年連続15回目となり、経営トップをはじめとした「建設的な対話」に取り組む姿勢などを継続してご評価いただいております。大変光栄に存じます。

アサヒグループを取り巻く外部環境は、グローバルな政治経済の不確実性などが増しているものの、デジタル化などによる消費の多様化や世界的なプレミアムビール市場の拡大など、多様な「機会とリスク」が拡大しています。また、コーポレートガバナンス・コードの改訂などに応じて、企業理念を起点とした統合的な情報開示や投資家の皆様をはじめとしたステークホルダーとのエンゲージメントがより一層求められています。

当社は2016年以降、欧州での大型M&Aや迅速な事業ポートフォリオの再構築により、事業利益の海外比率は40%近くに高まり、グループ社員の半数以上が外国人となるなど、真のグローバル化に向けて成長基盤が拡大しています。グループが新たな成長ステージに立ったことに加え、世界中の社員がアサヒ独自の価値創造に向けてベクトルを合わせていくために、本年は、新グループ理念“**Asahi Group Philosophy**”を制定するとともに、その具現化に向けて『中期経営方針』を発展的に更新いたしました。

更新した『中期経営方針』では、重点課題に「稼ぐ力の強化」、「経営資源の高度化」、「ESGへの取組み深化」の3点を掲げ、財務情報と非財務情報をリンクしたエンゲージメント・アジェンダを示すことで、より中長期視点での対話に努めています。具体的なIRイベントとしては、業績のウェイトが高まっている欧州事業の説明会や“**Asahi IR Day**”を開催し、アジェンダに基づくこれまでの成果や今後の方向性について対話を深めています。欧州事業説明会は、西欧、中東欧事業の現地トップが出席し、日本ではTV会議形式で実施するとともにロンドンでも同様の説明会を開催するなど、幅広い投資家との直接対話を推進しました。またIR Dayでは、アサヒビール社やアサヒ飲料社の経営トップに加えて、ESGパートでは会長兼取締役会議長およびESの担当役員などが出席し、事業やESG関連のキーパーソンとの対話機会も拡大しています。

今後も、今回の受賞を励みとして、アナリストや投資家の皆様との価値協創に向けて“**ONE TEAM**”でIR活動を推進していきたいと思っております。皆様には、国内外の幅広い知見に基づいて、より中長期的な視点に立ったご指摘やご示唆を頂ければ幸いです。「建設的な対話」を踏まえた経営改革により持続的な企業価値向上を目指してまいりますので、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。